

脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」(第78回)

解像度が低くて稟議(りんぎ)を却下

2024.06.19



何度聞いてもうまく理解できない、難解なIT用語。そんな困りごとを抱えたIT初心者の社長にも、分かりやすく理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回は漢字、それもきっと聞いたことのある「解像度」だ。

「社長、今後の業務効率アップのためにも解像度の高いスキャナーに買い換えたいので、決裁していただけますか」(総務兼IT担当者)

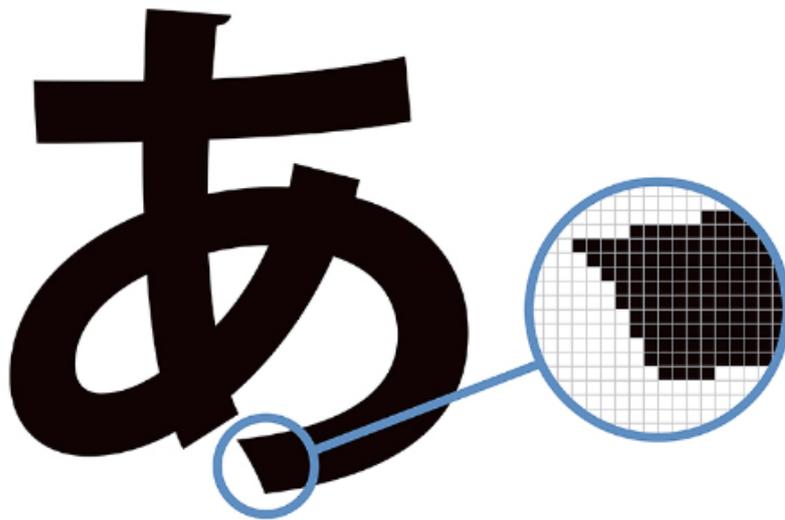
「何、解像度だって。ワシの趣味は写真を撮ることじゃが、この間、解像度の高いデジタルカメラを買ったばかりだ。孫の写真もかわいく撮れる。今度、見せてやるぞ」(社長)。

「ありがとうございます！楽しみにしていま…、おっと話がそれるところだった。社長、違います。写真の話ではなくて、スキャナーの話です。解像度の精度がOCR(光学的文字認識)にも関係し、業務効率にも影響するんです」

「解像度がOCRや業務効率とどう関係があるんだ。はっきり説明しなさい」

解像度の数値が大きいほど高精細

解像度とはデジタルデータ画像の密度を数値で表す言葉です。デジタルカメラで撮影した写真(画像データ)の解像度もその1つ。1インチ四方の範囲の中にどれだけ画像の点(ドット)が並んでいるのか、dpi(dot per inch)という単位で示します。例えば、100dpiは1インチの範囲に100個のドットが並んでおり、この数値が大きいほど高精細な画像になります。ただし、解像度が高くなるとスキャナーの処理時間がかかったり、保存するデータ量が大きくなったりするため、用途に応じた適切な解像度にするといいでしょ。



画像は複数のドットで構成されている

Q スキャナーと解像度は関係あるのですか。… 続きを読む